

差出人: csih@googlegroups.com は 橋本 英樹 <hidekih@wine.plala.or.jp> の代理
送信日時: 2014年9月21日日曜日 10:29
宛先: csih@googlegroups.com
件名: [CSIH] 中部産業遺産研究会 ニュースレター 電子メール版 2014年9月21日発行

////////////////////////////////////
/ 中部産業遺産研究会 ニュースレター 電子メール版 2014年9月21日発行 /
/ //////////////////////////////////////

中部産業遺産研究会にご参加頂ける方をご紹介します。
ご参加頂けそうな方には、この電子メール版ニュースレターを配信させていただきますので、
このメールを返信する形でお知らせ下さい。

【入会案内はこちら】
<http://csih.sakura.ne.jp/nyuukaiannai.html>

【中部産業遺産研究会のホームページがリニューアルしました】
<http://csih.sakura.ne.jp/index.html>

【CONTENTS】

- 【1】 中部産業遺産研究会・関連団体の行事予定
- 【2】 第130回定例研究会・見学会のご案内と第131回定例研究会・パネル展・講演会のご案内【再送】
- 【3】 宇都宮三郎関連資料化学遺産認定記念 講演会&ミニシンポジウムのご案内／天野博之【New】
- 【4】 シンポジウム「水域環境の増大するリスクを知り、対応を考える」のご案内【New】
- 【5】 「中部産業遺産研究会創立20周年記念誌」印刷版に若干数追加販売が可能です【再送】
- 【6】 大人の算数・理科シリーズ：モノづくりの原点 第6回／杉本漢三【New】

【1】 中部産業遺産研究会・関連団体の行事予定

- 第130回研究会・見学会 2014/09/28(日) 13:00～ 揚輝荘見学・高木備太郎会員案内
- 第131回研究会・パネル展講演会 2014/11/16(日)または次週22～24で調整中
13:00～ 名古屋都市センター11F・大研修室予定
- 第132回研究会 2015/01/25(日) 13:00～ 開催予定
- 第133回研究会 2015/03/22(日) 13:00～ 開催予定
- 第23回総会・第134回研究会 2015/05/24(日) 13:00～ 開催予定

会場は名古屋都市センターを除き予定です。名城大学名駅サテライトにお願いする予定ですが、
大同大学や豊田くらし発見館などに変更する場合があります。

【2】 第130回定例研究会・見学会のご案内と第131回定例研究会・パネル展・講演会のご案内【再送】

見学会ご案内のホームページ：
<http://csih.sakura.ne.jp/panerutenn.html>

【集合場所の揚輝荘北園前は、覚王山日泰寺の東隣になります】

9月28日に開催の定例研究会（見学会）のご案内を添付ファイルにてご案内いたします。

28日は、13:00に揚輝荘北園前に集合です。

最寄り駅は地下鉄東山線の覚王山駅で、1番出口を出て徒歩10分です。

<http://www.yokiso.jp/images/access/kinnrinmap.pdf>

当日は高木備太郎会員にご案内頂きます。

なお、参加人数が20名以上になった場合には団体入場料金が適用されて240円になります。

名古屋市敬老パスをお持ちの方は入場料金が80円になります。お持ちの方はご持参下さい。

揚輝荘のホームページはこちら。

<http://www.yokiso.jp/>

揚輝荘見学後15:30頃から「水の歴史資料館」の見学をします。

名古屋市上下水道局の旧東山管理事務所を活用し、上下水道の歴史的に重要な設備・機器類、文献、公文書などを収蔵・展示しています。

17時頃に解散の予定です。

また、11月16日の定例研究会・パネル展・講演会のご案内も添付いたしました。

詳細は添付ファイルをご参照下さい。

<http://csih.sakura.ne.jp/panerutenn.html>

【3】宇都宮三郎関連資料化学遺産認定記念 講演会 & ミニシンポジウムのご案内／天野博之【New】

中部産業遺産研究会 各位

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃よりお世話になっております。

さて、地域文化研究所が顕彰活動を行ってきました近代技術の開拓者・宇都宮三郎について、昨年度、日本化学会の第5回化学遺産認定により、

宇都宮三郎の遺品等の関連資料が

「化学技術者の先駆け 宇都宮三郎資料」として化学遺産に認定されました。

これを記念して、下記の通り講演会 & ミニシンポジウムを開催します。

宇都宮三郎をご存知の方はもちろん、宇都宮三郎を知らない方も気軽に楽しめる内容です。

皆様のお越しをお待ち申し上げます。

日時： 平成26年11月8日（土） 午後2時～4時

（受付・開場）午後1時30分～

場所： 高正山幸福寺（豊田市畷部西町屋敷51：宇都宮三郎菩提寺）

定員： 50名ほど

内容： 講演「化学技術者の先駆け 宇都宮三郎資料の化学遺産認定」

講師 新井和孝氏（日本化学会化学遺産委員会委員）

宇都宮三郎資料の化学遺産認定についての裏話を含め、

宇都宮三郎の化学史上の位置づけなどをお話しいたします。

ミニシンポ「宇都宮三郎を語る！」

パネリスト：新井和孝氏、神谷修己氏（幸福寺住職）

司会：天野博之（地域人文化学研究所）

その他： 参加無料

幸福寺所蔵宇都宮三郎資料の閲覧あり

宇都宮三郎オリジナルピンバッチ配布（先着 20 名）

とよた五平餅学会協賛による五平餅関連商品配布（数量限定・先着順）

お問い合わせ先

地域人文化学研究所（代表理事 天野博之）

メール catalyst-r@live.jp

【ご案内のホームページ】

<http://catalyst-r.jimdo.com/%E5%AE%87%E9%83%BD%E5%AE%AE%E4%B8%89%E9%83%8E-%E7%A7%8B%E6%B0%B4-%E3%82%92%E8%AA%9E%E3%82%8B/>

【化学遺産認定記念行事チラシ（表）】

<http://catalyst-r.jimdo.com/app/download/9630294779/omote.pdf?t=1411149234>

【化学遺産認定記念行事チラシ（裏）】

<http://catalyst-r.jimdo.com/app/download/9630294979/ura%2B%2B.pdf?t=1411149234>

【4】シンポジウム「水域環境の増大するリスクを知り、対応を考える」のご案内【New】

名古屋工業大学卒業生の技術士で作る「名古屋工業大学ごきそ技術士会」では、9月27日土曜日に名古屋工業大学にて下記の通り例会・シンポジウムを開催致しますのでご案内を申し上げます。

一般の方のご参加は無料ですが、参加ご希望の方は、資料の用意の都合からお申し込みだけお願いいたします。

（技術士資格をお持ちの方にはCPD参加票を発行いたします。）

今回は、名古屋工業大学都市社会工学科教授の富永晃宏先生にご登壇頂き、

「豪雨災害リスクへの備えについて」

という内容でお話しして頂きます。

広島での豪雨災害のあった直後であり、タイムリーな話題です。

また、会員で副会長の山根隆行先生による話題提供、「スマトラ大津波と東日本大震災との間で起きていたこと」も非常に興味深いと思います。

また、以上の講演を踏まえてのディスカッションの時間もとりました。

懇親会は、現在、鶴舞駅ガード下で計画しております（「串太郎」を予約する方向で計画中です）。

懇親会の参加費は上限 3500 円程度を見込んでおります。

日時：平成26年（2014年）9月27日（土曜日） 13:30～17:00 （13:00 受付開始）

場所：名古屋工業大学 1号館 3F（309A：大学院講義室）

シンポジウム：テーマ「水域環境の増大するリスクを知り、対応を考える」

13:00 受付開始

13:30～13:35

ごきそ技術士会会長挨拶・会務報告 春田要一（技術士・金属/総合技術監理 部門）

13:35～14:45

講演：名古屋工業大学都市社会工学科 教授・富永晃宏先生

演題：「豪雨災害リスクへの備えについて」

14:50～15:50

会員話題提供：ごきそ技術士会副会長 山根隆行

みなと総合研究財団 専務理事（技術士・建設/総合技術監理 部門）

話題：「スマトラ大津波と東日本大震災との間で起きていたこと」

15:50～16:00

暫時休憩

16:00~17:00

自由討論：「水域圏のリスク増大傾向の中で、技術者はどのように対応すべきか」
ファシリテータ ごきそ技術士会副会長 石田佳子（技術士・衛生工学/建設/総合技監）

【追加情報】

11月29日土曜日に開催予定の第17回例会では、名工大のロボコン工房が、インドでのABUロボコン（世界大会）で2位になった輝かしい実績をたたえて、顧問の機械工学科教授の水野直樹先生のご講演と、ロボコン工房の学生さんによるデモを検討しております。
こちらも皆様のご参加をぜひお願いいたします。

★★

【参加申し込み】

今回の例会担当の打田憲生副会長（C46）まで電子メールにてお申し込み下さい。

n_uchida@re.commufa.jp

その際、懇親会の参加の有無も必ずおしらせ下さい。

一般であることを明記して下さい。

★★

以上、ご案内いたします。

【5】「中部産業遺産研究会創立20周年記念誌」印刷版に若干数追加販売が可能です【再送】

創立20周年記念誌ですが、印刷版に若干数の残部が発生しました。
そこで会員および非会員の皆様に追加販売をさせて致します。

創立20周年記念誌については、お読み頂いた皆様から非常に高いご評価を頂いております。

印刷版については、増刷の予定はございませんので、この機会にぜひご購入ください。

なお、写真がカラーで、検索機能も利用可能なCD-ROM版については引き続き販売をしておりますので、必要な方はぜひご購入ください。

CD-ROM版の目次は次のリンクにあります。

<http://www15.plala.or.jp/hidekih/csih/>

印刷版の購入のお申し込みは天野武弘副会長までお願いいたします。

amano-ta07@pro.odn.ne.jp

なお、現在、天野副会長がガラ紡のラオスへの技術移転を目的にラオスへの海外出張中であることから、8月末頃までは天野副会長からの連絡がありませんので、その点についてはご了承ください。

印刷版またはCD-ROM版をお急ぎで必要とされる方がおいでの場合、事務局の大橋公雄先生までご連絡ください。

ohashi05@ai.wakwak.com

今後、中部産業遺産研究会のホームページから購入頂けるようにする方向で検討しております。

【6】大人の算数・理科シリーズ：モノづくりの原点 第6回／杉本漢三【New】

累乗

同じ数を何度もかけることを「累乗」という。フランスの数学者フランソワ・ビエト（1540～1603年）は、 x の2乗を「 x quad」、 x の3乗を「 x cubus」のように「平方」、「立方」の意味をつけた。その x の2乗は「 xx 」、 x の3乗は「 xxx 」と並べて表現していたが、現在のように

「x²」、「x³」という表記は有名なルネ・デカルト(1596~1650年)である。

ところでxの2乗は、英語で”Second power of x”というが、古代ギリシャでは、これを”dynamis”と呼んでいた。Dynaで始まる言葉は、「力(power)」の意味を持つが、「累乗」は大きな数値も、小さな数値も容易に表現できる便利で強力な表記法という。

参考記事；朝日新聞、2013.7.21「数と科学のストーリー」



中部産業遺産研究会のニューズレターは電子メールアドレスをお持ちの会員の皆様に Google グループのメーリングリストのシステムを使って配信しています。

配信元：中部産業遺産研究会 会報編集委員・広報幹事 橋本 英樹

E-mail : hidekih@wine.plala.or.jp

Copyright 2002-2014 The Chubu Society For The Industrial Heritage, Allrights reserved.



このメールは Google グループのグループ「中部産業遺産研究会」の登録者に送られています。

このグループから退会し、グループからのメールの配信を停止するには csih+unsubscribe@googlegroups.com にメールを送信してください。

<http://groups.google.com/group/csih> からこのグループにアクセスしてください。

その他のオプションについては、<https://groups.google.com/d/optout> にアクセスしてください。